

丈夫がいいね

787

増えすぎると動脈硬化を招くLDL(悪玉)コレステロール。近年、悪玉よりさらに動脈硬化を促進させる「超悪玉」と呼ばれるタイプの存在が分かってきた。超悪玉の増加には中性脂肪が深く関係している。

・密度高く小さい
超悪玉は悪玉より密度が高く小さいため、血管壁に入り込みやすい。超悪玉と悪玉の両方を多く持つ人は、心筋梗塞を起す確率が非常に高くなることが分かっている。

コレステロール①

超悪玉が増える要因は中性脂肪の増加にある。中性脂肪は肝臓でコレステロールとともに体の各組織に運ばれる。中性脂



超悪玉と深いかわりのある中性脂肪は、メタボリック症候群の診断基準にも取り入れられている

入れられ、脚光を浴びるようになった。悪玉や超悪玉が血管内にたまって

血管が詰まると命にかかわる。突然襲ってくる脳梗塞や心筋梗塞が、知られている疾病だが、それだけではない。

足の動脈が閉塞すると、足に冷えやしびれが出る。ふくらはぎに痛みを感じることもある。しばらく休んでいると治るため、脳梗塞などと違っ

必要がある」と注意を促す。

・「来院少ない」

中性脂肪は、食べ過ぎや運動不足によって余分な脂肪が体に蓄えられると多くなる。規則正しい食事を心掛けるなど生活を見直し、それでも中性脂肪やコレステロールの異常が改善しなければ、医療機関を受診し、薬物治療を行うことも考えた方がよい。

「健診でコレステロールや中性脂肪の値が異常だと分かっても、病院に来る人はその半分もないのではないか」と横山院長は嘆く。体に異常を感じなくとも、病気が進行している。「まさか」と頭を抱える前に、最善を尽くそう。

中性脂肪増で超悪玉に

肪が増えれば増えるほど、悪玉は小型化しやすくなり、超悪玉も多くなる傾向がある。

これまで、中性脂肪はあまり注目されていなかったが、メタボリック症候群の診断基準にも取り



こぶのようになると血管が狭くなる。こぶに亀裂が入ると、それを治そうと血小板が集まる。さらに、赤血球なども巻き込んで血栓を作り、血管の詰まりを引き起こすのだ。

「大したことはない」と思ってしまう人は多い。しかし、公立能登総合病院(七尾市)内科の横山将嘉院長は「こうした症状が出たら、脳や心臓の血管も早急に検査する